



# 第101期 報告書

2008年11月1日～2009年10月31日

**OHARA®**

株式会社 オハラ

株主の皆様へ



最高品質の先進素材を提供し、  
世の中の技術革新に貢献して  
まいります。

代表取締役社長

齋藤 弘和

株主の皆様におかれましては、ますます  
ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼を  
申し上げます。

ここに第101期（2008年11月1日～2009年  
10月31日）報告書をお届けいたします。

今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜り  
ますよう、心よりお願い申し上げます。

## 当期の業績について教えてください。

2008年秋以降急速に進んだ世界同時不況は、各国の景気刺激策により、アジア諸国を中心に生産の持ち直しが見られたものの、雇用情勢は悪化するなど景気は引き続き低迷しました。わが国経済は、年度後半にマイナス成長局面をようやく脱したものの、生産設備の過剰感は払拭されず、雇用情勢が悪化するなど、景気は総じて低迷しました。

このような状況下において、当社の連結業績は、売上高194億9,000万円（前期比36.3%の減収）、経常段階では7億3,600万円の損失となりました。

### <光事業>

デジタルカメラ市場は2008年秋より急激に悪化いたしました。2009年春を底として当期後半では徐々に回復基調となりました。ただ、その回復は低価格機を中心としたものであり、最終製品の価格下落は激しいものがあります。

当社業績も市場の推移に従って第1四半期、第2四半期は厳しい状況が続きました。第3四半期以降は、一眼レフ向け、交換レンズ向けを中心に売上が回復に向かいましたが、前期比で減少しました。

損益面では、最終製品の価格下落に伴って、当社販売単価も下落したことから、従来の利益水準を維持することが難しくなっています。特に、コンパクトデジタルカメラについては、中国材の比率が非常に高まってきており、大変厳しい状況となっています。

### <エレクトロニクス事業>

ハードディスクドライブ市場も、2008年秋より悪化いたしました。ネットブックやWindows 7の影響により、当期後半には急速な需要回復を見せました。ただ、こちらも最終製品の価格は下落しています。

当社業績は、ハードディスクドライブメーカーの一時的な生産・在庫調整により、年初より需要が激減しましたが、7月に急回復し、第4四半期以降はフル生産が続きました。

一方、半導体用露光装置向け高均質光学ガラスや液晶用露光

装置向け極低膨張ガラスセラミックスは、メーカー各社の設備投資抑制から低調に推移しました。また、石英ガラスについては、一部産業用途向け製品において、需要の回復が当面期待できないことから、固定資産の減損損失で7億4,900万円、たな卸資産評価損で4億6,100万円の特別損失を計上しています。

## 今後の事業戦略について教えてください。

今後の経営環境については、世界経済は各国の積極的な景気刺激策により、緩やかな景気の持ち直し傾向が続くものと見込まれますが、生産設備の過剰感から企業の投資マインド回復には時間を要し、雇用情勢の悪化から個人消費も力強さに欠けるなど、実体経済の回復の遅れが懸念されます。

このような状況下において、第102期の業績予想は、売上高250億円（当期比28.3%の増収）、経常利益は15億円（当期は7億3,600万円の損失）としました。

### <光事業>

デジタルカメラ市場は一眼レフカメラ及び交換レンズを中心に需要は回復基調となっていますが、コンパクトタイプのデジタルカメラ需要は弱含んでおり、また、市場のコモディティ化に伴って販売価格の下落傾向が続くことが懸念されます。

このような中、当社では中国提携先でのOEM生産品を2010年1月より出荷開始するとともに、OEM溶解を更に推進することで、コモディティ化した市場に対応し、シェア拡大に努めていきます。一方で、当社が得意とする高付加価値領域での交換レンズ需要については、取りこぼしなく獲得していきます。

### <エレクトロニクス事業>

ハードディスクドライブ市場は、当期の急速な需要回復から成長へと転じ、2014年頃までは成長が続く見込みです。このような状況に対応するため、当社ではハードディスク用ガラス基板材の生産設備増強を決定し、顧客需要への対応に努めていきます。一方、販売単価については引き続き下落傾向が懸念されることから、サプライチェーン各社と連携したコストダウン対策を行っていきます。

半導体用露光装置向け光学ガラスや液晶用露光装置向け特殊ガラスは、設備投資の抑制から需要の回復は第102期後半以降になるものと見込まれるため、宇宙・天体向けの用途開発に注力します。

石英ガラスは全体的に厳しい状況ですが、その中でプロジェクト向けのTFT基板には動きが見えてきています。

## 次期の見通し

	第101期 実績	第102期 予想	増減率
売上高 (百万円)	19,490	25,000	28.3%
売上総利益 (百万円)	4,519	6,600	46.0%
[売上総利益率] (%)	23.2	23.0	
営業利益 (百万円)	△605	1,400	—
[営業利益率] (%)	—	5.6	
経常利益 (百万円)	△736	1,500	—
[経常利益率] (%)	—	6.0	
当期純利益 (百万円)	△1,848	900	—
[当期純利益率] (%)	—	3.6	
為替レート (円/1USD)	94.3	88	
(円/1EUR)	128.7	130	
通期配当 (円)	15	15	

## 中期経営計画の進捗はいかがですか。

当期の目標は、売上高200億円、経常損失5億6,000万円であり、残念ながら若干の未達でしたが、最終目標は変えていません。足元の経営環境は着実に回復から成長に向かいつつあるほか、環境・エネルギー分野への参入準備についても、着実に進めています。

LICGC（全固体リチウムイオンバッテリー向けリチウムイオン伝導性ガラスセラミックス）については、現在、全固体一次電池としては技術確立ができており、足元では、特殊用途向け一次電池の新規市場、顧客開拓と、電極電池開発に目処を立てて二次電池としての実用化を目指すところです。

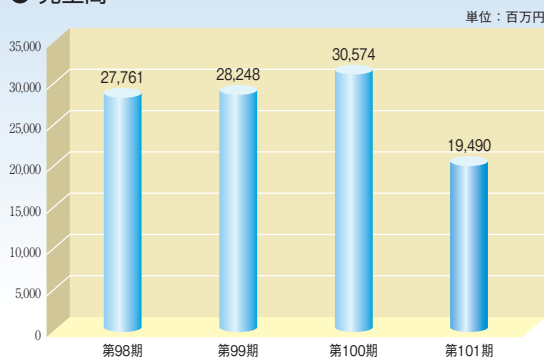
太陽光発電用ガラス集光レンズについては、フレネルレンズなどの集光光学系向け光学素子のサンプルワークを実施しており、既にシステムメーカーでの評価も始まっています。

更に、ガラスセラミックスでは

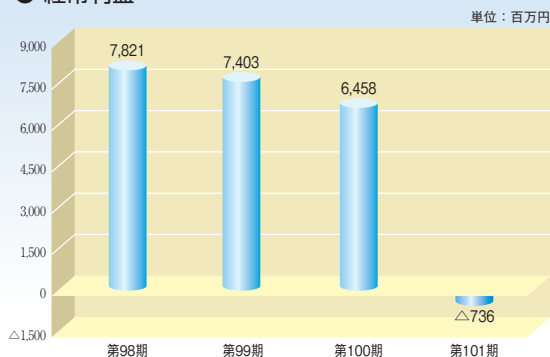


## 連結財務ハイライト

### ● 売上高

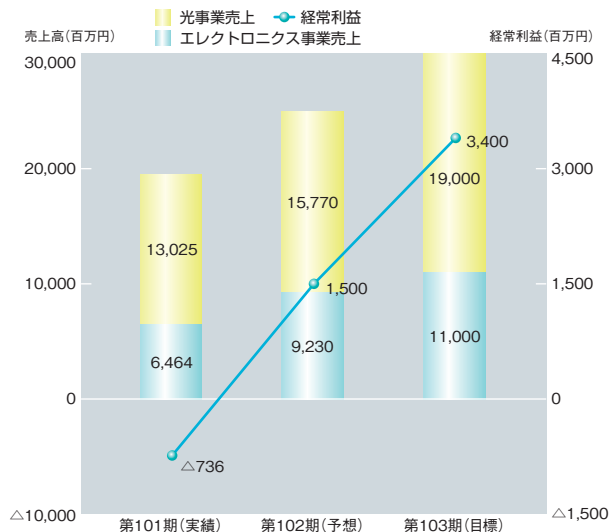


### ● 経常利益



世界初となる新規光触媒材料の開発も行いました。水質浄化用途等向けに今後、製品化を目指していきます。

また、これらの推進をより加速化するため、社長直轄の「新事業推進室」を設置するなど、社内体制面でのバックアップも強化していきます。



### 第103期 目標

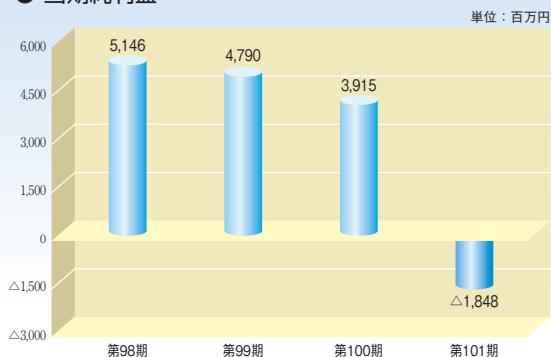
- 売上高300億円以上
- 経常利益34億円以上
- ROA（総資産経常利益率）5%以上
- 総資産有利子負債率10%以下

### 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

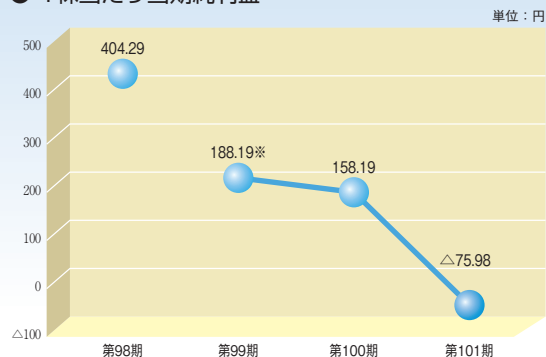
当社では、株主の皆様への利益還元については、業績の状況や経営環境を踏まえ、企業体質の強化と将来の事業展開に備えた内部留保に努めつつ、長期的視点に立って安定配当をしていくことを基本方針としており、第102期の配当予想は第101期と同額の1株当たり15円を予想しています。

中期経営計画達成に向け、全社一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆様には引き続き当社に一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ● 当期純利益



### ● 1株当たり当期純利益



(注) ※は2007年5月1日付で実施した株式分割後の株式数により算出しております。

## 宇宙技術開発に貢献するオハラ

オハラのガラスはこれまで様々な国内外プロジェクト（アポロ11号、大阪大学レーザー核融合、月探査衛星「かぐや」など）に採用され、大きな実績を積んできました。今後も世界最大の30m望遠鏡建設計画（TMT計画）をはじめとして、国内外の宇宙開発や最先端半導体露光装置用部材への採用に向け、具体的な活動が進行中です。オハラの特殊ガラスはこれからも大型プロジェクトや最先端技術に採用され、日本発世界一の技術開発に貢献していきます。

### すばる望遠鏡

すばる望遠鏡は、日本の国立天文台がハワイ島マウナケア山頂に設置した大型光学赤外線望遠鏡です。すばる望遠鏡は、設置10年を経過してなお、ハワイ島マウナケア山頂に林立する名だたる世界の望遠鏡を抑えて、地球からもっとも遠い天体のベスト10すべてを発見した実績を誇り、宇宙の起源に迫る成果を上げています。

こうした人類にとって極めて貴重な成果を上げることに、オハラも貢献しており、すばる望遠鏡の特徴のひとつである主焦点カメラ（Suprime-Cam）に、オハラの光学ガラスが搭載されています。この8,000万画素の巨大デジタルカメラは、満月とほぼ同じ大きさの34分角×27分角という広い視野を一度に撮像することができ、広い天域を効率よく観測することができます。

また、この主焦点カメラの性能を更に10倍引き上げるべく搭載されるHyper Suprime-Cam（2011年観測開始予定）にも、オハラの光学ガラスが採用されました。

このように、オハラは1935年の創業以来一貫して「光学および特殊ガラスの高品質化と付加価値の向上」に努めており、天文業界においても、『非常に高度な仕様を満たす光学および特殊ガラスを供給できる唯一の会社』という名声を博しています。



すばる望遠鏡



すばる望遠鏡主焦点カメラ

## ハードディスク用ガラス基板材の生産能力を3割増強

### ◆2010年10月（第102期末）に月産1,800万枚体制へ（現在は1,400万枚）

2009年12月17日に、ハードディスク用ガラス基板材の生産能力を増強することを決定しました。

マレーシアにある製造子会社OHARA DISK (M) SDN.BHD.に16億円を投資して、現在の生産能力月産1,400万枚を、2010年10月（第102期末）に月産1,800万枚（現在の約29%増）とします。

ガラス基板材は耐衝撃性に優れているため、2.5インチ以下のモバイル用途のハードディスクドライブ（HDD）に採用されています。特に、ネットブックが牽引するノートパソコンの伸びにより、2.5インチHDDの需要が拡大しています。

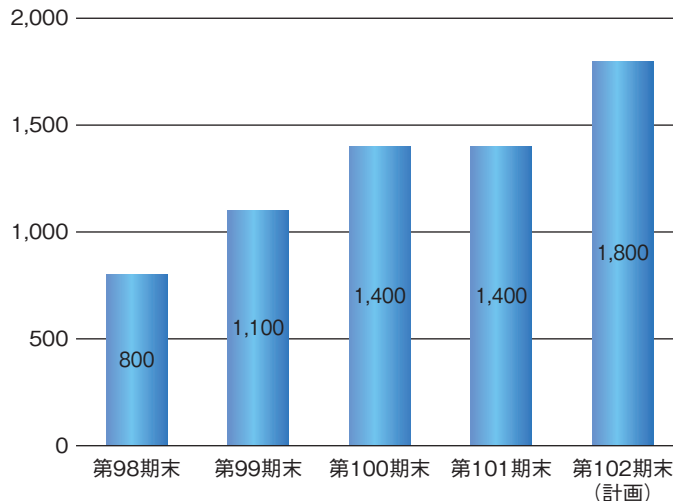
今後HDD市場の成長に伴い、ハードディスク用ガラス基板は2009～2012年に年率15%という堅調な伸びが予想されています。オハラはこの需要拡大の機会を好機と捉え、積極的な投資を行っていきます。

また、生産設備の増強のみならずガラス基板開発においても、次世代に向けた低コスト化・耐熱性・化学的耐久性・高靱性・剛性化という技術革新に取り組んでいます。

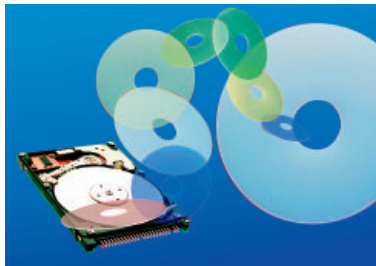
今後も引き続き、品質、価格、納期対応でお客様に満足していただけるよう、当事業の展開に積極的に取り組んでいきます。

＜月産生産能力の推移＞

（単位：万枚）



※数値は各年度末時点



ハードディスク用ガラス基板材



マレーシアにある生産拠点  
OHARA DISK (M) SDN.BHD.

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期 (2009年10月31日)	前 期 (2008年10月31日) (ご参考)	科 目	当 期 (2009年10月31日)	前 期 (2008年10月31日) (ご参考)
<b>【 資 産 の 部 】</b>			<b>【 負 債 の 部 】</b>		
<b>流 動 資 産</b>	<b>23,335</b>	<b>27,851</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>9,827</b>	<b>13,221</b>
現金及び預金	6,814	6,274	支払手形及び買掛金	2,121	4,183
受取手形及び売掛金	7,222	11,013	短期借入金	5,834	5,310
有価証券	2,006	704	1年内償還予定の社債	—	125
たな卸資産	6,437	8,306	未払法人税等	62	818
繰延税金資産	478	799	そ の 他	1,809	2,783
そ の 他	391	764	<b>固 定 負 債</b>	<b>3,289</b>	<b>2,958</b>
貸倒引当金	△ 16	△ 12	長期借入金	773	165
<b>固 定 資 産</b>	<b>29,032</b>	<b>32,542</b>	繰延税金負債	973	871
有形固定資産	22,793	26,323	退職給付引当金	1,161	1,029
無形固定資産	57	69	そ の 他	381	891
投資その他の資産	6,181	6,149	<b>負 債 合 計</b>	<b>13,117</b>	<b>16,179</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>52,367</b>	<b>60,394</b>	<b>【 純 資 産 の 部 】</b>		
			<b>株 主 資 本</b>	<b>39,870</b>	<b>42,380</b>
			資本金	5,855	5,855
			資本剰余金	7,930	7,930
			利益剰余金	27,633	30,143
			自己株式	△ 1,548	△ 1,548
			<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	<b>△ 902</b>	<b>1,029</b>
			その他有価証券評価差額金	1,486	1,306
			為替換算調整勘定	△ 2,388	△ 276
			<b>少 数 株 主 持 分</b>	<b>283</b>	<b>804</b>
			<b>純 資 産 合 計</b>	<b>39,250</b>	<b>44,214</b>
			<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>52,367</b>	<b>60,394</b>

### 連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期	前 期
	（自 2008年11月 1日 至 2009年10月31日）	（自 2007年11月 1日 至 2008年10月31日） （ご参考）
売 上 高	19,490	30,574
売 上 原 価	14,971	18,758
売 上 総 利 益	4,519	11,816
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	5,124	5,444
営 業 利 益（△ 損 失）	△ 605	6,372
営 業 外 収 益	565	522
営 業 外 費 用	696	436
経 常 利 益（△ 損 失）	△ 736	6,458
特 別 利 益	429	2
特 別 損 失	1,290	68
税金等調整前当期純利益（△純損失）	△ 1,597	6,391
法人税、住民税及び事業税	263	2,121
過 年 度 法 人 税 等	-	256
法 人 税 等 調 整 額	448	82
少数株主利益（△損失）	△ 461	15
当期純利益（△純損失）	△ 1,848	3,915

### 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期	前 期
	（自 2008年11月 1日 至 2009年10月31日）	（自 2007年11月 1日 至 2008年10月31日） （ご参考）
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,571	4,652
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 895	△ 4,272
財務活動によるキャッシュ・フロー	364	△ 3,243
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 676	△ 88
現金及び現金同等物の増減額	2,364	△ 2,952
現金及び現金同等物の期首残高	6,208	9,160
現金及び現金同等物の期末残高	8,572	6,208

### 連結株主資本等変動計算書（要旨）

当期（自 2008年11月1日 至 2009年10月31日）

（単位：百万円）

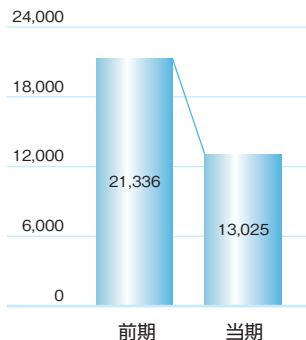
	株主資本					評価・換算 差額等	少数 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
2008年10月31日 残高	5,855	7,930	30,143	△ 1,548	42,380	1,029	804	44,214
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 608		△ 608	-		△ 608
当期純損失（△）			△ 1,848		△ 1,848	-		△ 1,848
自己株式の取得				△ 0	△ 0	-		△ 0
在外子会社の退職給付債務変動額			△ 53		△ 53	-		△ 53
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）					-	△ 1,931	△ 521	△ 2,453
連結会計年度中の変動額合計	-	-	△ 2,509	△ 0	△ 2,510	△ 1,931	△ 521	△ 4,963
2009年10月31日 残高	5,855	7,930	27,633	△ 1,548	39,870	△ 902	283	39,250

# セグメント別の概況

## 光事業

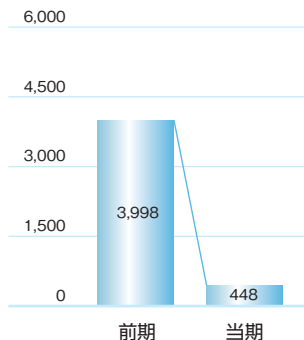
### 売上高

(単位：百万円)



### 営業利益

(単位：百万円)



※当期よりセグメント区分の見直しを行っており、これに伴い前期実績は、現在の  
新セグメント区分で遡及し再試算しています。

2008年秋からのデジタルカメラ市場の急激な悪化により、期初よりレンズプランクスの需要も大幅に減少しました。この需要減は、第2四半期を底として、第3四半期以降は回復基調となったものの、前期比では減少しました。

一方、損益面では、カメラなど最終製品の価格下落に伴って、販売単価も下落しました。

### 主要製品

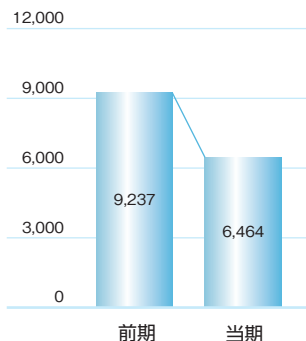


光学ガラス素材

## エレクトロニクス事業

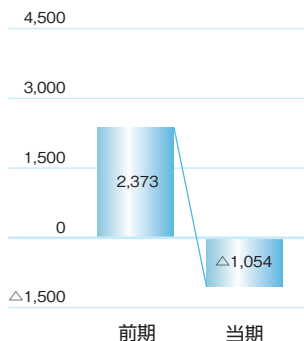
### 売上高

(単位：百万円)



### 営業利益

(単位：百万円)

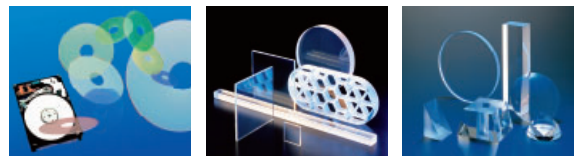


※当期よりセグメント区分の見直しを行っており、これに伴い前期実績は、現在の  
新セグメント区分で遡及し再試算しています。

ハードディスク用ガラス基板材は、メーカーの一時的な生産・在庫調整により、2009年の年初より需要が激減しましたが、7月以降に急回復しました。ただ、損益面では最終製品の価格下落に伴う販売単価の下落により収益性が低下しました。

一方、半導体／液晶露光装置向け特殊ガラスや、石英ガラスは、メーカー各社の設備投資抑制から低調に推移しました。

### 主要製品



ハードディスク用ガラス基板材

特殊ガラス

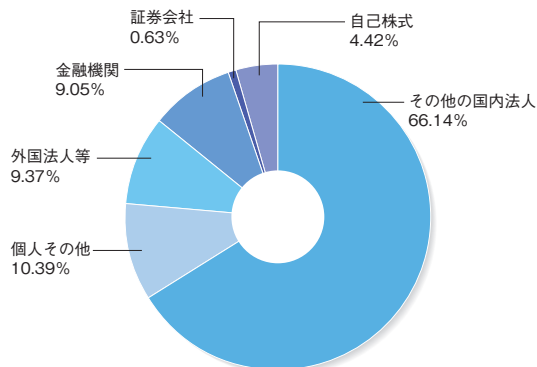
石英ガラス

■ 発行可能株式総数	76,000,000株
■ 発行済株式の総数	25,450,000株
■ 株主数	4,524名
■ 大株主	

株主名	持株数	出資比率	
		株	%
セイコーホールディングス株式会社	8,252,722		33.9
キヤノン株式会社	4,694,380		19.3
京橋起業株式会社	1,748,400		7.2
三光起業株式会社	1,638,300		6.7
株式会社みずほ銀行	500,000		2.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	477,400		2.0
ビービーエイチ オツペンハイマー クエスト インターナショナル パリユー フォンド	429,900		1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	410,100		1.7
株式会社 ト プ コ ン	400,000		1.6
ジェービー モルガン チェース バンク 380055	268,100		1.1

(注) 出資比率は自己株式(1,124,281株)を控除して計算しております。

### ■ 所有者別株式数分布状況



### ●取締役・監査役

代表取締役会長	油谷純正	(経営全般)
代表取締役社長	齋藤弘和	(経営全般、営業担当)
専務取締役	関戸仁	(生産、技術担当)
常務取締役	若杉覚	(業務監査、総務担当兼総務部長)
常務取締役	中島隆	(経営企画、経理担当兼経理部長)
取締役	広瀬孝二	(研究開発部長)
取締役	青木哲也	(人事部長)
取締役	山村勝美	
取締役	中村敏宏	
取締役	眞榮田雅也	
常勤監査役	馬渡正秀	
監査役	高木晴彦	
監査役	大澤正宏	

### 会社概要

2009年10月31日現在

商号	株式会社オハラ
所在地	〒229-1186 神奈川県相模原市小山1-15-30 TEL 042-772-2101 (代表) FAX 042-774-1071 ウェブサイト <a href="http://www.ohara-inc.co.jp/">http://www.ohara-inc.co.jp/</a>
創立	1935年10月1日
資本金	58億5,500万円
事業内容	光学及びエレクトロニクス関連向けガラス素材の製造・販売
従業員数	428名(グループ全体 2,341名)
グループ会社	台湾小原光学股份有限公司 OHARA OPTICAL (M) SDN.BHD. 小原光学(中山)有限公司 OHARA DISK (M) SDN.BHD. 株式会社オーピーシー 株式会社オハラ・クオーツ Ohara Corporation OHARA GmbH 小原光学(香港)有限公司 足柄光学株式会社

## 株 主 メ モ

事業年度	毎年11月1日～翌年10月31日
剰余金の配当基準日	10月31日 (中間配当を行う場合は4月30日)
定時株主総会	毎年1月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告方法	電子公告 ( <a href="http://www.ohara-inc.co.jp/">http://www.ohara-inc.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先 電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

租税特別措置法の2008年改正(2008年4月30日法律第23号)により、2009年1月からお支払しました配当金について、支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。

今回の配当については、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、2011年の確定申告の際の添付書類としてご使用ください。

なお、2009年にお支払しました配当金につきましては、口座振込(株式数比例配分方式を含む)でお受取の株主様はその際にお送りしております配当金計算書が、配当金額取証でお受取の株主様は、2009年12月下旬にお送りしております配当金支払明細書が、それぞれ確定申告の際の添付書類となります。2010年の確定申告の際は、こちらの添付書類をご使用ください。

また、2010年にお支払する配当金を株式数比例配分方式によりお受取の場合、2010年より源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、2011年の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

**OHARA®**  
株式会社 オハラ

株主様向け  
アンケート

## 株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスコード入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。  
所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **5218**

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、「いいかぶ」と4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)  
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

